小城高等学校黄城会会報

黄城

Ojo News Letter Vol.39

CONTENTS

新特集 黄城人 …… 1
会長挨拶 …… 4
母校の近況 …… 5
合格！優勝！ …… 6
各支部総会報告 …… 8
卒業50周年を祝う …… 10
後輩からの一言 …… 12
クラス会便り・トピックス …… 13
黄城会総会を終えて …… 14
役員一覧・物故者・寄贈 …… 15
事務局より …… 16

発　行▶平成21年７月１日
発行所▶黄城会
発行人▶岩松　要輔
印　刷▶㈱音成印刷

リニューアルした黄城会会報「黄城」をお届けします。本年度より、全国の会員全員にお届けすることになりました。また、新企画「黄城人」に第一回目特別対談として、江里口小城市長、横尾多久市長に母校にきていただき、熱気ある対話を聞きました。小城市、多久市の現在を知っていただけたら幸いです。次号からも、各界で活躍する会員の活動、講演などを掲載する予定です。ご期待ください。

新特集 黄城人

横尾多久市長 vs 江里口小城市長

多久・小城 ふるさとの未来を語る

――小城高を卒業されて、両市長とも30年以上たちました。どんな高校生でしたか？

江里口　時代的に振り返って見るととっても良い時代でした。周りも小城高に入学したら次は大学に進学しようと考えていましたね。

ただ、今でも悔やんでいるのは、高１の夏休み前に部活を辞めてしまったんです。続けていたらもっと楽しくなっていたかもしれません。悪くも、良くもなれない、普通の子でした。

私たちの３年生の時に万博があって、行きました。初めて都会に行って、東京や大阪に憧れましたね。

横尾　私の高校時代はバスケットボールでスタートでした。中学で一日中練習に励んでいましたので、高校に入ってもバスケットボール部に入りました。ライバルも良き友になりました。

生徒会もやりました。３年生時は、自習の時間に体育館をクラスで借りて、運動もしましたね。帰り道に小城公園に行ったり、のびやかな受験生でした。

時代としては「ニクソンショック」。当日に模擬試験があり、「１ドルはいくらか？」という問題に「１ドル360円」という答えが、その日から、だめになったんですよ。

他にも、学園紛争や浅間山荘事件

やオイルショックなど、テレビで見て、「世の中、一筋縄ではいかないな」と高校生ながらに感じました。

――小城高が初めて甲子園に出場した時はおいくつでしたか？

江里口　私は社会人になっていたので25か26歳くらいでした。甲子園での試合より、佐賀県大会の決勝戦、延長18回の試合を車のラジオで聞いて応援していたのが印象深いですね。

横尾　私は大学生の頃でした。嬉しかったですね。

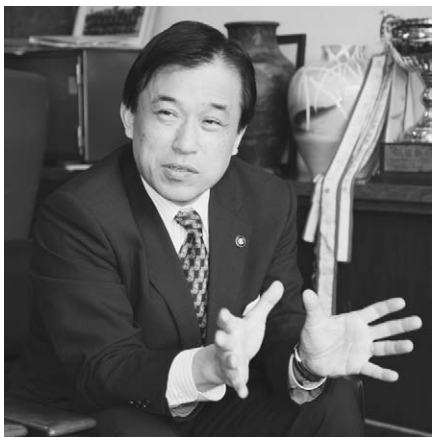
「型」を大切に（横尾）

――自治体の長として、教育に関して、期待されるものは？

江里口　今、家族間でも色んな事件が起こっています。私たちの頃はそんなになかったと思います。我々の頃と今、戦後教育なのは同じですが、私たちの頃は、先生や親が戦前教育を受けていたので家や学校でも「けじめ」や「立場」を体を張って教えられました。

「みんな平等」という基本姿勢は私たちの頃も同じですが、今は平等だけを教えて立場やけじめを教えることができていないのではないかと思います。

また、小城高は卒業式で「蛍の光」、「仰げば尊し」を歌っています。ですが中学校、小学校では歌がバラバラです。私はこれらの歌を聞くと感動が高まってくるんですよ。歌に感動があります。



流行りの歌もいいですが、一貫したものもいいのではないかと思い、教育長にご相談しましたが「強制はできない」とのことでした。「形式」かもしれませんが、私はそれも日本の伝統文化だと思うんですよね。無くしてはいけないものも大事な伝統だと思います。

横尾　私は以前にオンリーワン授業に講師で参加させていただきました。生徒の私語を注意し、ある時「外に出なさい」と忠告したら、後日、先生から「ありがとうございました」とお礼を言われたんです。いじめではなく、躾るべきは躾るけじめを大事にし、相手の成長を思って接していくことが大事だと思うのです。

教師になって３年目の方が小学校でアンケートをとったら「先生もっと叱って」というのが一番多かったそうなんです。「真剣に私にかまって」と望んでいる子どもたちがいるんですよね。

「形式」という話がでましたが、日本の武道など「型」は大事だと思います。型でスイッチが入ることもあるし、基本も学ぶ。現代は風格や品格が少しずれてきているのではないかと思います。

四町の一体化を（江里口）

――黄城会の会員の中には、故郷を離れて20～30年経つ方もいらっしゃるかと思います。変わりゆく、小城市、多久市の平成21年度の施策を教えてください。

江里口　小城町、三日月町、牛津町、芦刈町の４町が合併し、小城市が誕生して５年になります。年に１度、それぞれの町の町人会が行われていて私も挨拶に行かせいただいているのですが、故郷を離れた方の小城市のイメージは昔のままのなんですね。

小城高の卒業生も多く、故郷への思い、つながりの強さを感じます。また、そういった場でふるさと納税もお願いさせていただき、「故郷のために」と大勢の方にご協力いただき、ありがたいですね。時代に合わせた街づくりを進めつつも、小城市では昔の故郷のイメージは残していきたいですね。

横尾　多久市はふるさと納税の件数が県内で一番多いんです。また、それとは別に「孔子像修復基金」があり、それまで含めるとたくさんの方々が協力してくださっています。本当にありがたいことです。

平成20年度は孔子多久聖廟創建三百年で色々盛り上がりましたが、今年度は後半からマスタープランを新しく作ります。それに向け、行政の動きも変わってきます。

具体的には、２～３年前から始まった、定住政策の具体化や商店街の活性化、中長期的には小中一貫教育など市長特命プロジェクトを立ち上げ、やっていきたいと思っています。今、一番気にかけているのが経済とその対策です。基幹産業である農業をいかに支えるかも大事なことです。生計が成り立たないとゆとりや楽しみもありませんので。

――小城市は近年、人口の中心が三日月町寄りに変わってきていますね？

江里口　はい。人口の割合が小城と三日月だけで３分の２、芦刈と牛津で３分の１くらいです。小城町も少し減少傾向にあります。３月議会では私が選挙前で骨格予算しか出せなかったので、これから経済対策を早くしていきます。

合併して５年経つので、平成24年度までに本庁を一本化します。新本庁は三日月庁舎を使い、その周辺に増築をします。一本化するだけではなく、他の庁舎が町の核となっているところも多いのでそれらを配慮し、活用できる所は活用し、中心市街地活性化につなげていきたいですね。

――小城市は「㈱まちづくり小城」が発足したそうですね。

江里口　現在、中心市街地の開発計画・整備が進みつつあります。一つは「コンパクトな街づくり」を目指します。街中には女性の一人住まいの方も多いので住む人のことを考えた街づくりです。具体的には、小城駅から祇園さんまでを面的に考えて、５年間で整備します。この辺りは元々城下町として資源の多い環境です。又駅から祇園さんまで何と23件の羊羹屋があるんです。これらの羊羹通りを含めた中心整備は他にはないものです。

私たちは総理大臣の「中心市街地活性化基本計画」認定を目指しています。佐賀県では認定を受けたところがないんですよ。㈱まちづくり小城の発足は、そのための第一歩でもあります。またこのエリアでは小城公園中心の整備や小城庁舎が中心になるので交流センターにしたり、通りの景観も整え、歩いて散策してもらえるようにしたいですね。

また小城には蛍や棚田などで年間35～40万人の観光客が来られているが、街まで下りて来られないんですね。小城という街を散策してもらえる仕組みつくりを平成25年までの５年間でやっていきたいですね。

唐津線に蒸気機関車の夢
（江里口、横尾）

――多久駅が改築されました。多久市の未来像を教えてください。

横尾　今推進しているのは、昭和63年末頃からの案で、平成７年から区画整理事業があり、駅の南側が整備され、駅の北と南がつながり面整備を進めています。今年の初めには、経済産業省のアドバイス事業を活用してアドバイザーに来ていただきディスカッションしました。引き続き、外からの目と多久市民の内なる思いを合わせ、地域の方の思いを活かした街づくりを大事にしたいと考えています。また、これから駅北側に関しては道を広げ、中心名店街を潰して、今度新しい店ができます。

それと、エリア的に広くはないので歩いて回ることができる「コンパクトな街づくり」を進めて行きます。個人的には中多久駅、多久駅、東多久駅の間で、唐津線の蒸気機関車や機関車トーマスを走らせたいですね。

江里口　私も何とか唐津線で蒸気機関車を走らせたいです。今、佐賀と小城と多久と唐津で唐津線の利用促進期成会を作っているのでそこで何とか夢を共有したいですね。

今度、新幹線が通りますが、佐賀駅に止まって、小城市は通過地点です。そこで佐賀駅で降りて、そこから蒸気機関車に乗って唐津に行ってもらえたら面白いのではないかと思います。 それとやはり小城は「スローライフ」です。ゆっくり、ゆったりを基本としてイベントや食育・教育など様々な活力に活かしたいですね。

一昨年からスローライフ月間を設定して、そこで小城の米、海苔、梅を使った商品「おぎにり」を販売したりと取り組んでいます。

――この不況の時代を乗り越える、市の活力とはなんでしょうか？

横尾　先日、朝５時に起きて仕事をしていたら、鳥のさえずりや風の音が聞こえたんです。なんとも素晴しい貴重なことだなぁとしみじみ感じました。

企業誘致で来られた方も「うぐいすがいいですね。持って帰りたい！」と言われました。今あるものに価値を発見し、磨きあげ、外に発信していく。更にそれを他の人が賛同してくれた瞬間に自信につながります。

うちもスローライフ研究会に入ってますので、進めていきたいですね。地場の女山大根・桐岡ナスや岸川まんじゅう。農商工連携で、新たな特産物も発信して行きたいですね。また、「がばいばあちゃん」ロケ地になり旧南渓分校が盛り上がりグリーンツーリズムも動いています。

様々なネットワークを生かして、プラスを掛け算にして効果を出していきたいですね。市民が主体的にがんばるものを財政的にサポートしたいと思っています。

――最後に、全国の黄城会員に一言お願いします。

江里口　以前、作家の童門冬二さんが小城藩初代藩主の鍋島元茂に注目されて、小説を書いてみたいと言ってくださったことがあるんです。元茂は文武両道のお殿様で、マイナスをプラスに転じていく人でした。

童門さんは「恕」の心を持っている藩主であると言われました。「恕」とは思いやりの心のことです。我々人間は、相手を認めて、思いやりを心を持ち続けること。「恕」の心を大事にして、後世に伝えていく責任があると思います。また、遠方から帰ってこられた先輩方が「小城はよかところの残っとるばい」と言っていただけるよう。

横尾　多久市と言えば、孔子。多久領主４代目の茂文が孔子廟を造ったんです。「葉隠」の有名な一説に「武士道とは死ぬことと見つけたり」とありますが、その続きに「生と死迷う道にあったら死ぬ方を選びなさい」とあります。迷ったら難しい方を選べということなんですね。死ぬ

新たなる発展に向けて

黄城会会長　岩松　要輔

平成21年度の黄城会総会が、去る５月３日に晴天のもと盛会の内に終了したことを共に喜びたいと思います。実行委員を務められた新高36回生の皆さんのご尽力で、行き届いた総会であったと思います。来年実行委員を務められる新高37回生も副実行委員として饅頭会で頑張っておられました。

黄城会の目的は、周知の通り「同窓の絆を強め、母校小城高等学校を支援する」と言うことです。これまでにも先輩諸氏は強い同窓の絆で結ばれ、その結束の強さは県内外において認めるところです。そして母校の後輩に向けて継続的に支援事業をおこなって参りました。後輩たちが学習に部活動に自由に利用できる黄城教育会館を建設し、また財政面で支援する黄城奨学資金の制度を確立し、鋭意継続して参りました。母校創立100周年記念事業として英国ラクビー校短期研修を10回にわたり実施してきたことは、皆様ご承知の通りであります。

黄城会の情報発信のための機関誌として会報『黄城』がこれまでに38号まで発行されましたことは、原稿を積極的に寄せていただいた同窓生諸氏の協力と、編集責任を負ったこれまでの黄城会事務局の奮闘によって成し遂げられたことでした。１号から11号までは新聞形式、12号から38号までは文集冊子形式でしたが、今回御覧の通りＡ４版の大きさで、写真を増やし大きな活字での新しい時代に合った内容に組み替えられました。そしてこの会報は同窓生全員にお送りすることになりました。黄城会活動の様子を会員全員にご理解いただき、活動資金の会費納入がより一層増加することをも期待いたしております。この新企画の会報が一日も早くご理解ご満足を得て、ますます発展していくことを期待しています。

最後になりましたが、同窓各回期及び県内外10支部の活発な同窓会活動を期待し、母校小城高等学校のますますの発展を心から祈念いたしまして、挨拶といたします。

特集　（前ページからのつづき）　「多久・小城　ふるさとの未来を語る」

（横尾）：と思ったら必死でやるから物事は達成できるという訳です。

孔子様ゆかりの論語カルタ大会も15回を数え、多くの市民の方に親しんでいただいています。ある兄弟が兄弟けんかをして、最後にお兄ちゃんが「人の欲せざるところ人に施すことなかれ」と論語の一節を言ったそうです。お父さんが「意味が分かっているのか？」と尋ねたらちゃんと解説したのでびっくりしたそうです。そんな子どもたちの姿にお父さんは翌日から論語を学び始めたと伺いました。子どもも、親も、周りの大人もみんなで論語に学んでいきたいと思います。「仁」も「恕」も論語にあります。みんなで参加して協力してやれることを実現してきいたいですね。

聞き手：川副　春海

平成21年４月28日

小城高校校長室にて

PROFILE

横尾　俊彦（よこお　としひこ）
小城高校　昭和49年度卒（高27回）
慶応義塾大学、松下政経塾
平成９年の市長選で多久市長となり現在３期目。佐賀県市長会長。内閣府の地方分権改革推進委員。

江里口　秀次（えりぐち　しゅうじ）
小城高校　昭和45年度卒（高23回）
西南学院大学
小城町長を２期勤め、平成17年４月の市長選で初代小城市長となる。現在２期目。

母校の近況

学校長　荒谷　博幸

平成21年度を迎え、黄城会会員の皆様におかれましては、益々御清栄のことお慶び申し上げます。皆様には常日頃から小城高等学校の教育発展のためにご支援、ご協力を賜り心からお礼申し上げます。

私は、前校長西岡強先生の後任として平成21年４月から校長を拝命しました。私は以前、教頭として、また教諭として小城高校にお世話になりました。今回で３回目の赴任となります。私は生まれは南多久で母は牛津出身です。そういった意味でこの小城・多久地区は私の故郷に等しく、この地で校長を拝命したことに感激するとともに身が引き締まる思いです。

本校の現状についてご報告させて頂きます。全般な状況としては、生徒は落ち着いた中で勉学、部活動、学校行事に取り組んでいます。また、いろいろな活動はスムーズに運営されています。学校の体制としては、全国的な生徒数減少に伴い、本校もクラス減になり、各学年で６クラス計18クラス、生徒総数720名の体制になりました。今後も生徒数の減少が続く厳しい状況ですが、その分きめ細かな指導に努めて行きたいと考えております。

平成21年度大学入試結果についてご報告致します。国公立大学合格者数は94名、私立大学が延べ314名、短大14名、看護学校･専門学校が34名、就職７名で例年並の結果だったと思います。その中でも、九州大学が６名と久しぶりに１桁の後半の合格者数を出すことができました。今後とも学力向上に励み、生徒の能力を伸ばすように私達教職員の指導力向上に努めて参りたいと思います。

次に、部活動について報告します。運動部、文化部ともにすばらしい活躍でした。運動部は野球部の秋の九州大会県予選で優勝する活躍を筆頭に、多くの部活が優勝または準優勝の結果を残し、学校だけでなく地域の大きな活力となっています。また、文化部では書道部が全日本高等学校書道コンクールで３位に当たる優秀校に選ばれました。このように校是である「文武一途」のもと生徒たちは頑張り、活躍しています。

学校行事については、開校記念行事の天山登山は、多くの生徒が山頂または山頂近くまで登っていきます。以前は途中の晴田小学校で放棄する生徒が多数いたことを考えると今昔の感があります。オンリーワン活動は、１年生の職場訪問、２年生の自由課題研究、３年生の小論文と10年以上活動が続き、内容もなかなか充実した内容になってきています。１年生については職場訪問だけでなく大学の研究も併せて行う計画です。学校祭は、地区毎に４つに分けられていましたが、佐賀地区から通学してくる生徒の増加と学級減に伴い、３つに分けられるようになりました。

黄城会の事業としてご支援頂いている黄城育英奨学生は、学校生活の様々な場面で模範となり勉学に励んでおります。創立100周年記念事業であった英国研修は昨年度終了し、新しく学校主催として継続することになりました。生徒にとって幅広い視野と国際的な経験を得ることができる絶好な機会ですので、今後とも継続していきたいと考えています。これまでのご支援に対しまして感謝致すとともに、お礼を申し上げます。

また、創立110周年記念式典を平成21年10月31日（土）に実施します。現在その準備を行っておりますが、その際にもいろいろご協力をお願いすることもあるかと思いますがよろしくお願いします。

以上、本校の近況について概要をご報告させていただきました。私達職員一同、本校の生徒がこの激動の次第を乗り切っていけるような力をつけるべく、日々の教育活動に邁進していきたいと思っております。

最後になりましたが、黄城会の皆様から日頃いただいているご支援に対しまして感謝申し上げますとともに、黄城会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝を祈念いたしまして近況報告とさせて頂きます。

第123回九州地区高等学校野球佐賀県大会優勝　優勝旗を授与される田中副主将

合格！優勝！

学業報告・部活動の成績

平成20年度合格状況

【国立大学】京都工芸繊維大学１／岡山大学２／広島大学１／山口大学10／愛媛大学１／高知大学２／九州大学６／福岡教育大学１／佐賀大学34／長崎大学10／熊本大学６／大分大学４／鹿児島大学１

【公立大学】国際教養大学１／島根県立大学１／尾道大学１／下関市立大学１／北九州市立大学８／福岡県立大学１／長崎県立大学２

【私立大学】東京理科大学２／大東文化大学３／明治大学１／東海大学５／愛知学院大学１／名古屋商大学１／日本福祉大学１／立命館大学１／同志社大学２／関西大学３／近畿大学３／神戸学院大学１／福山大学２／徳島文理大学１／福岡大学54／西南学院大学15／九州産業大学17／九州共立大学２／九州女子大学２／久留米大学62／久留米工業大学２／筑紫女学園大学７／中村学園大学７／福岡工業大学17／西九州大学24／活水女子大学４／長崎国際大学４／崇城大学２／熊本学園大学３／立命館アジア太平洋大学１／九州保健福祉大学３／その他の大学61

【短期大学】 私立短期大学14

【その他】文科省外大学２／高等看護学校20／医療系専門学校２／その他専門学校12／就職５

平成20年度部活動の成績

【運動部】

1. 柔道部

○第46回佐賀県高等学校総合体育大会／女子団体優勝（九州・全国大会出場）／女子　48kg級　２位　堤　友紀（九州大会出場）／52kg級　１位　藤田かおり（九州・全国大会出場）／２位　岡本　彩（九州大会出場）／３位　倉富　尚子／63kg級　１位　宮崎　由佳（九州・全国大会出場）／２位　脇山　美佳（九州大会出場）／３位　坂井　友美／78kg級　１位　野崎　あゆみ（九州・全国大会出場）　男子　66kg級　２位　田崎　幹人（九州大会出場）

○第31回全国高等学校選手権佐賀県柔道大会／女子団体　第２位

2. バドミントン部

○第20回佐賀県高等学校生徒バドミントン競技春季大会／男子ダブルス　２位　田中　賢一・門田　泰司

○第46回佐賀県高等学校総合体育大会／男子団体２位（九州大会出場）／女子団体３位／男子シングル　３位　田中　賢一（九州大会出場）／男子ダブルス　２位　田中　賢一・門田　泰司（九州・全国大会出場）

○平成20年度佐賀県高等学校新人体育大会バドミントン競技大会／女子団体　第３位

○全九州高等学校バドミントン高鍋大会／女子４部リーグ第２位

3. ソフトテニス部

○平成20年度佐城地区高等学校ソフトテニス春季大会／女子団体３位

○第46回佐賀県高等学校総合体育大会／女子団体３位

○佐賀県ソフトテニス高校生夏季大会／女子個人第３位　真﨑　陽子・江島万紀子

○平成20年度佐城地区高等学校ソフトテニス秋季大会／女子団体３位／男子団体１位

○佐賀県ソフトテニス高校選抜インドア大会／女子第２位　真﨑　陽子・江島万紀子

○佐賀県ソフトテニス高校生春季大会／女子第３位

4. 水泳部

○第46回佐賀県高等学校総合体育大会／女子団体３位／女子100mバタフライ　１位　久我　桃子／女子50mバタフライ　２位　久我　桃子

○第３回佐賀県冬季ジュニア水泳競技大会／女子50mバタフライ第１位　久我　桃子

5. バスケットボール部

○第６回ハヤカワカップ高校バスケットボール大会／団体女子３位

○第46回佐賀県高等学校総合体育大会／女子団体３位

○第23回佐賀県高等学校バスケットボール１年生大会／男子第３位

○第１回唐津市長旗争奪高校生バスケットボール大会／女子準優勝

○第39回全九州高等学校バスケット

柔道部

ボール春季選手権佐賀県大会／女子第３位
○第10回鳥栖近隣地区高等学校バスケットボール大会／女子優勝

6. 剣道部

○第30回大麻旗争奪高校剣道大会　敢闘賞／豆田悠紀見

7. 野球部

○第13回唐津地区高等学校野球新人大会／優勝
○第123回九州地区高等学校野球佐賀県大会／優勝

8. 弓道部

○平成20年度佐賀県高等学校新人体育大会弓道競技大会／女子団体優勝
／男子個人優勝　久原　俊亮
○平成20年度佐賀県高等学校弓道１年生錬成大会／女子団体準優勝

9. バレーボール部

○第25回西部地区高校生バレーボール大会／準優勝　男子

【文化部】

1. 放送部

○第55回ＮＨＫ杯全国高校放送コンテスト／テレビドキュメント部門　最優秀賞（全国大会出場）／アナウンス部門　奨励賞／朗読部門　奨励賞
○第32回佐賀県高等学校放送コンテスト／アナウンス部門優良賞　荒木　美香（九州大会出場）／朗読部門　優良賞　牧口美沙紀、畑野　麻紀（九州大会出場）
○平成20年度アバンセ杯放送コンクール／アナウンス部門優良賞　秋次　麻衣

2. 吹奏楽・合唱部

○第63回九州合唱コンクール佐賀県予選／銀賞
○第49回佐賀県吹奏楽大会／Ａパート銀賞
○第32回佐賀県高等学校音楽コンクール／ピアノ部門　　銅賞　志岐　梓／木管楽器部門　銅賞　草場　響子／金管楽器部門　金賞　山口かなえ

3. 書道部

○第14回九州高文連美術・工芸・書道・写真展長崎大会／書道部門　優秀賞・奨励賞（富永莉代）
○第36回七夕書道展覧会／知事賞　坂見　麻衣／特　選　本多りずむ／秀作　２名／佳作　11名
○第60回佐賀県高等学校席書大会／特選　栗山　千春・富永　莉代・本多りずむ／奨励賞　10名／秀作　１名
○第19回中林梧竹翁顕彰席書大会／梧竹大賞　富永　莉代／梧竹記念館賞　坂見　麻衣／特選１名／奨励賞４名／秀作３名／佳作４名
○第７回岐阜女子大学全国書道展／奨励賞　辻　久美子
○第20回佐賀県高等学校総合文化祭書道展／特選　橋本　沙樹、本多りずむ、陣内　　愛
○第３回尚絅大学高校生書道展／尚絅学園同窓会花桜会賞　富永　莉代
○第31回中林梧竹顕彰書道展／梧竹顕彰会賞　辻　久美子／小城市観光協会賞　本多りずむ
○第54回佐賀県教育連盟主催「書き初め書道展」／特選　橋本　沙樹、本多りずむ
○第33回佐賀県高等学校臨書展／特選　添島　奈那、栗山　千穂、岸川　佳代、富永　莉代、光岡　詩織
○第14回全日本高等学校書道コンクール／団体賞優秀校第３位書道部／部門最高賞　本多りずむ、塚田　愛梨／準部門最高賞　添島　奈那、橋本　沙樹、本多りずむ、北川沙也加、成住　美咲／教育研究会賞　６名／優秀賞　17名

野球部：第123回九州地区高等学校野球佐賀県大会優勝

4. 美術部

○第28回川上峡春祭りスケッチ大会／金賞　一般の部　武富　滉斗
○第61回佐賀県高等学校スケッチ大会／準特選　田中　美里・武富　滉斗・清水　花恵／奨励賞　５名
○国際中高等学生公募展／銀賞　武富　滉斗／銅賞　２名
○第20回佐賀県高等学校総合文化祭美術・工芸部門／準特選　谷川あゆみ、武富　滉斗、岡島　美樹、松岡　裕美
○第47回佐賀県高等学校デッサンコンクール／準特選　田中　美里

5. 社会体育

○平成20年度第32回九州高等学校ライフル射撃選手権大会／ＡＲＳ40ＪＷ　第２位（石田　祐莉・全国大会出場）
○平成20年度第46回全国高等学校ライフル射撃選手権大会／10mエアライフル少年女子立射40発競技第４位　石田　祐莉
○平成20年度国民体育大会第28回九州ブロック大会／ライフル射撃10ｍＳ40ＪＷ　第１位　石田　祐莉

支部総会報告 2008年度

関東支部

10月18日　グランドプリンスホテル新高輪　120名

佐賀からは西岡強校長、岩松要輔会長をはじめ今年の本校の総会を担当した35回卒、来年の36回卒の世話役も上京し120名を超える会員が集まり、和やかに、始まりました。

１部の総会は毎年恒例の決算報告・予算の承認。上京者の挨拶、紹介のあと、６回卒吉村東京佐賀県人会会長に県人会でも黄城会の会員が活躍していると挨拶をして戴きました。

２部の「黄城のつどい」が始まると俄然活気づき饅頭をほおばり、牛津の蒲鉾をつまみに小城の酒を味わいながら、「わさんいまどこにおっとや」などとあちこちで佐賀弁が飛び交い、久しぶりの対面を喜ぶ方、近況を確かめ合う方、あっという間の３時間でした。 多久の岸川饅頭さん、小城の酒造メーカーさん、小城市役所の皆様のご協力に感謝いたします。

中京支部

20年10月26日　百楽　40名

来賓として中部佐賀県人会長の楢原ユクヨ様を迎えて佐賀弁で挨拶していただきました。関西支部からは山田支部長様に出席していただきました。黄城会常任理事の松尾剛之様、西岡強小城高校長にも遠路出席していただき母校・黄城会の活動や近況報告をしていただきました。アトラクションでは、昨年大変好評でしたので今回も“琴線流旭会”の皆様による大正琴で大変盛りあがりました。最後に全員で小城高校歌を斉唱しまして無事総会をおえました。今回の総会では実行委員の皆様に手伝っていただき大変お世話になりました。この場を借りてお礼申し上げます。今後も黄城会・小城高校が益々発展される事を祈願しております。　（新高21回　江里口多美雄）

関西支部

10月19日　プリムローズ大阪　51名

第１部のご祝辞、報告に続き、第２部では「ペガサス元氣塾」の森健次朗先生を招き「オリンピック選手が実践する健康法」を全員で体験。不思議なくらいの体の変化に驚きの声が上がりました。続いて「佐賀にわか」の筑紫美主子さんのコントを集めたビデオ上映。なつかしい佐賀弁の連続に、会場は笑いの渦。「あはは、『けーまつれた』てん、久しぶりに聞いたばい！」こんな会話があちこちで聞こえました。また、抽選会や物産即売会では、飛び入りによるアドリブ司会でさらに盛り上がり、予定時間を越えるほどの賑わいでした。今回の支部総会のお世話を通じ、沢山の先輩方や同級生の温かさを、身にしみて感じる事が出来ました。ありがとうございました。

（新高35回　高岸　実）

関門・北九州支部

11月15日　リーガーロイヤルホテル小倉　21名

年を重ねるごとに参加者が減少する中で本年の開催および今後のあり方等、支部活動について準備幹事会を９月６日八幡ロイヤルホテルに於いて開催いたしました。課題として会員の高齢化・新規加入者の皆無状態・約250名の在住者への対応・福岡支部への編入等問題点を協議。本年は開催日を土曜日に変更・開催案内を過去10年以内に参加実績の方50名に絞って実施等、経費の問題も考慮し実施計画を立案いたしました。

現在関門・北九州支部の同窓生は北九州市・飯塚市・遠賀郡・下関市・日豊線の各地と範囲は広く参加し易くするため交通の利便性を考慮して小倉駅前ホテルでの開催と致しました。

本年は、生憎の雨の中、黄城会本部川副副会長、学校より山口事務局長にご参加頂き、また実行委員会より35回・36回の実行委員６名の参加を得て、支部同窓生13名と併せささやかではありますが21名での支部総会となりました。幹事の方々には参加者勧誘促進のためご協力を頂きました。

支部総会では　野中支部長の挨拶・川副副会長の本部挨拶・山口事務局長より事務局報告・新旧実行委員会報告をして頂き在校生の大学進学・スポーツ部の活躍等お話をお聞きし若き日の学生時代を思い出しました。懇親会は旧中41回卒永淵先輩の乾杯のご発声で始まり毎回ご出席いただいている顔見知りが多く楽しく故郷を思い、高校野球の活動等時間のたつのも忘れ親しく懇談いたしました。締めは旧中43回卒中島先輩にお願いし、細々ではありますが諸先輩の築かれた関門・北九州支部を来年以降も存続していく努力をすることで決定し閉会いたしました。

来年のご参加をお待ちいたします。

福岡支部

10月11日　福岡国際ホール　123名

本部からは岩松会長、高校からは水田教頭にご出席いただき、又今回卒業から60年以上の諸先輩の方々18名もご招待させていただきました。同窓会ではメインアトラクションに黄城会先輩の演歌歌手稿葉ユキさんをお招きし素晴らしい歌声で会場を盛り上げていただきました。最後はハズレなしのビンゴゲームで盛り上がり校歌斉唱と万歳三唱で締め括りました。次回は36回生の担当で10月10日（土）開催が決定しております。三連休の初日となりますがご予定を調整いただき奮ってご参加の程お願いいたします。今回の総会並びに同窓会が成功いたしましたのも一重に皆様方のご協力の賜物と深く感謝いたしております。今後共福岡支部をよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

唐津支部

２月１日　唐津シティホテル　31名

当日は黄城会より岩松会長、小城高校より西岡校長先生、佐賀支部の梶原副支部長、江里口幹事長の来賓の皆様と総会実行委員の35回生、36回生、それに22名の支部会員の合計31名の参加をいただきました。

今回の総会では特別企画として黄城会員である横尾俊彦多久市長に、多久聖廟創建300年を記念して「温故創新」という演題で講演をしていただきました。当支部では多久市の出身者が多いことからの企画でしたが、横尾市長には公務でお忙しい中にもかかわらず心よく引き受けていただき、楽しく有意義なお話を聞くことができました。この紙面を借りてお礼申し上げます。

講演会、総会終了後は懇親会に移り、食事、お酒を飲みながらの楽しい会となりました。

（高校28回　鮎川　正博）

佐賀支部

11月15日　グランデはがくれ　190名

18時よりの総会も滞りなく開催され、お楽しみの懇親会…お歴々の先輩方とお酌を交わしつつ来年５月３日黄城会総会での再開をお約束させていただきました。私たち36期生はその殆どが初めての総会参加ではございましたが、先輩方のこの会に対する思いをお聞かせ頂き身が引き締まる思いが致しました。

黄城会佐賀支部総会は、小城高校を巣立った全ての方々にとって今までも、そして今後もとても大事な場所であると実感いたしました。今後も率先して参加させて頂きたいと思います。　（36期生　西岡　聖師）

県庁支部

３月19日　グランデはがくれ　22名

本部からは、岩松要輔会長、小城高校からは水田哲也教頭先生、佐賀支部からは、山田茂雄支部長、さらに県議会議員の伊東猛彦議員、藤木卓一郎議員や来賓者の方々をはじめ、県職員22名の参加となりました。特に今回は、これまで県庁支部長であられた遠田勝美様（新高20）が県庁退職に伴い、私、馬場光彦（新高24年）が新支部長としてバトンタッチをすることになりました。私自身、県庁入庁してから、この県庁支部総会だけは出席してきましたが、33年間を通じて、年々参加者が減少してきており、責任を痛感しています。当時の熱気を知っている私にとっては、寂しく感じていますが、若い職員も参加しており、光明を見い出しています。母校と黄城会の発展を祈念し、報告とします。

（高校24回卒　馬場　光彦）

多久支部

２月８日　北多久公民館　100名

第１部の総会は、岸川副実行委員長の開会のことばで始まり、急逝された武冨健一支部長へ出席者全員で黙祷をささげました。次に塚原実行委員長、古賀副支部長、支部相談役である横尾多久市長あいさつが行われました。続いて支部幹事長の内野正久氏が来賓の紹介を行い、来賓を代表して、黄城会会長岩松要輔氏、学校長西岡強先生、大野雅央事務局長からご挨拶を賜りました。その後、古賀道雄支部事務局長の事業報告、平成20年度総会実行委員長の松尾直人氏から、総会が無事終了したことへのお礼の言葉、平成21年度総会実行委員長の竹内雅敏氏が、総会のPR及び協力についてのお願いをそれぞれ述べられました。また、次回の第22回多久支部総会で実行委員を務める高校36回の皆さんが紹介され、最後に旧中、高女、高校の順に校歌を斉唱し第１部を締めくくりました。

第３部の懇親会は、井上副支部長の乾杯で開宴となり、懐かしい思い出や、新たな出会いに話が弾み、楽しいひとときを過ごされました。総会の最後は、吉浦副支部長の万歳三唱で締めくくりました。

（高校35回　塚原　弘幸）

祝 卒業50周年を祝う

平成20年度総会 「卒業50周年記念同窓会」 黄城の集い「謝辞」

新高10回生　吉村　　満

神々しい黄城の魂

私たち10回生は昭和30年４月に入学し昭和33年３月に卒業したものです。当時の校長、市場直次郎先生に「目前の困難にくじけることなく、強く生き抜かれよ」との餞（はなむけ）の言葉をいただき、黄城の桜の元を巣立ってまいりました。

あれから半世紀の50年、お陰様で只今122名の同窓生が全国各地から帰ってまいりました。あの当時と姿、かたちは変ってまいりましたが、各々の事情を乗り越えて晴れて、この壇上に立ち感無量であります。

このような黄城の集いがあることは、10年程前から伝え聞いて、卒業50年にして、人生70才の古希を迎えるというこの節目を目標に自分なりに精進し、又お互いに励まし合ってきました。

全体的な動きとしては平成13年の熱海大会、15年に福岡大会、16年に関西大会、そして18年に日光・草津温泉の関東大会と地ならしをしてまいりました。そして昨年春、「母校のセンバツ出場」という快挙に「甲子園のアルプススタンドで校歌を大合唱しよう」と呼びかけたものです。今日の日を迎えるに当っては地元実行委員の２ヵ年にわたる熱心な活動が全国に伝播して実った成果であります。

ところで、私たち学年は終戦の翌年の春に小学校に入学した戦後教育の一期生であります。

思い起せば地元のハナタレもんと疎開、外地引揚のハイカラもんと机を並べて芋とイワシで育ったようなものです。貧しかったけど天真爛漫で元気でした。今から思えばメタボもなく、自然食・健康食だったように思います。

戦後の民主教育で特徴的だったことは男女平等の思想です。戦前の「男女７才にして席を同じゅうせず」から一転してアメリカサイズの「レディーファースト」のスタイルが進歩的だと意識させられました。

高校３ヶ年のクラブ活動・体育祭の仮装行列・文化祭のプレゼンテーション等を通じて、その目標実現に向けて、男女各々に応じて役割と分担し協力し合ったことは、社会に出ても女性を人間としてパートナーとして理解する上で役立ちました。そして、ワークサイクルとして「プラン・ドウー・シィー・アクション」を計画し、実行し、見直し評価して、次の段階に進んでいくという「生き方のワザ」を学んだように思います。

京セラの名誉会長である稲盛和夫さんは「人生の方程式は考え方×熱意×能力」で、その中で一番大事なのは考え方で、「利己でなく利他の心で他人に尽くすこと」と強調されています。

これからは、「男性は女性のために」「女性は男性のために」お互いに助け合っていけたらと思います。

戦後強くなったのは「くつ下と何とか」と申しますが、私たちの学年に於いても女性陣の活躍はスバラシイものです。各地域で活躍されている「内助の功」は勿論ですが、同窓会の度に、進化してきた地元女性演芸チームの「むつごろう一座」は見事です。あの虫も殺さぬような元（もと）葉隠乙女等が「ドスコイ～」と「相撲甚句」と踊る様は圧巻です。

これからは「自然と歴史文化豊かなふる里小城」を「環境都市戦略」で平成の全国ブランドに育ててもらいたいものです。

何はともあれ今日の「同窓会まつり」はふる里の話題と酒と羊羹を肴に「むつごろう一座」のリードで50年振りに同期の桜となって生命のせんたくが出来そうであります。

今朝、校庭のあの大楠を仰ぎ見ておりますと「神々しい黄城の魂」が宿っているように感じられました。あの大楠は650年の時を刻み、又これからも大きな生命力で大空に向って立ち栄えることでしょう

私たちはあのエネルギーをいただいて、これからの老いの坂を「自然体でバランスとリズム」を大切にし乍ら生きてまいりたいと思います。

平成21年度総会 卒業50周年記念同窓会を終えて

新高11回生　島松　孝夫

努力すれば報われる

振り返れば我々が入学した当時は戦後11年を経過しており「もはや戦後ではない」とか『３種の神器』という言葉が流行しておりましたが、まだまだ身の回りは豊かとは言えない時代で石炭産業から石油化学産業へと移り変わりつつある時代に、神武景気といわれ、輸出による『外貨獲得』は國の至上命題であり『技術立国、技術革新こそが日本の生きる道』と声高に叫ばれておりました。

さて、その頃私達を指導し導いて頂いた先生方にはユニークなニックネームを持つ先生が多く、どの先生方も個性豊かで、情熱を傾け教えて頂いた、と感謝しております。

３年間先生方の授業を受ける中で『努力すれば報われる世の中になる』という将来ある私達への明るい展望を与えて頂き確信が持てたように思います。当時、神戸市長をされていた芦刈出身の原口忠次郎さんのお話を聞く機会があり、その中で本州と四国を結ぶ『夢の架け橋』の話があり、当時は全く夢のような話でしたが、その講演から30年後に着工され『明石海峡大橋』が完成しましたが原口さんが亡くなられた22年後の出来事です。

この大先輩の『夢の話や意気込み』は今でも鮮明に記憶に残っています。

丁度、原口さんが私どもと同じ69歳頃のお話であったと思います。

私達は昭和34年に卒業し丁度その年の４月に平成天皇のご成婚があり、その頃から高度経済成長や岩戸景気といわれる中で、所得倍増計画やオリンピック、大阪万博等が開催され、素晴らしい繁栄の一時でありましたがその頃はオイルショックや１ドル350円の頃で固定相場から変動相場へ以降が始まり円高の進行と続き、さらに平成元年には東西冷戦終結、続いてソビエト連邦の崩壊等私達を取り巻く生活環境はまさに「激動の時代」を迎えており、皆それぞれに必死に頑張り乗り切って来たと思います。

一方、後輩からは野球部の甲子園出場という大きな勇気を貰い、当時は進学校から甲子園出場などとても考えられない時代で選手諸君がどれほど頑張り努力したかを想像するだけで胸が熱くなりテレビの前で選手の１投１打に大拍手を送ったのを覚えています。

同時に「自分たちも負けてはいけない、頑張らねば」という大きな『勇気』と『自信』を頂きました。

先輩から『夢』を頂き、後輩から『勇気』を貰い、私達は日本発展のまっ只中をまっしぐらに走って来たと確信しています。

投　稿

南海に散った森中尉の逸話

旧中40回卒　野田　直行

昭和20年４月６日、特攻隊長として出撃敵艦に突入、短い生涯を散じた28回卒（昭和16年）森忠司氏のことである。森氏は、拓殖大学に進学佐賀県人として勤勉、武士道精神あふれる快男子であったことは我々後輩で知らぬ者は無かったし、自他共に認められる人であった。

拓大同期であった大和町在住、宮田太郎氏の話によると、「中学時代からの良き友を亡くした。」実は、拓大在学中戦運厳しき中、国難を憂い、海軍予備学生として志願、特攻を熱望出撃直前面会した折に、「両親には全く話をしていない。両親を宜敷く頼む」と告げられ別れたそうである。

この度の投稿したいきさつは佐賀市在住岩武光宏氏の新聞記事を拝読したことによる。

森氏と拓大同期であったという知人の伊万里市出身（在京）の寺中久元氏（元拓大北海道短期大学学長）が来佐され、道案内道中赤松町付近の散策を切望。森氏の実家を探したが判らずまま帰京された。寺中氏の話では、特攻出撃前に「俺がお前の分も思いを持っていくから、お前は母校と郷土を守ってくれ」と言い残されたそうである。

寺中氏はお別れする時に「森氏のことを忘れないで欲しい」と念を押され、目は涙でギラギラしていたとのことである。

森中尉は、当時の新聞記事によると、敵艦に、俺に続けとばかりに翼を振って突入されたとのこと。この武勲を風化させないように未来永劫に語り告げてゆく可く、昨年黄城会総会後、まんじゅう会席上、前記内容を発表追悼の言葉を述べさせてもらった。

全国津々浦々在住の黄城会会員諸志拙文ながら会報に登載した次第である。　　合掌

付記

中学同期であった海軍一等飛行兵曹　永富英雄氏
昭和19年　台湾沖航空戦において散華

同期の桜

貴様と俺とは　同期の桜
　　同じ兵学校の　庭に咲く
仰いだ夕焼け　南の空に
　　いまだ帰らぬ　一番機

貴様と俺とは　同期の桜
　　はなればなれに　ちかうとも
花の都の　靖国神社
　　花の梢に咲いて逢おゝ

後輩からの一言

周りのありがたみ

鹿　　拓人　（平成20年度卒　九州大学理学部）

私が、高校で持っていた目標は、国立大学に合格するということでした。だから、私は高校生活で特に受験勉強に力を入れました。そして、大学受験では見事に自分の第一志望の大学に合格することができました。そして、今、そのことを振り返ってみると、いろいろな人の支えがあったことを思い出します。

私は、小城高に入学してグレードクラスに入ることができました。しかし、初めらへんのテストでは他の人に比べて、良い成績をとることができなかったし、授業もだんだん難しくなるので、ついていけるかどうか正直不安でした。でも、先生方は丁寧で生徒に気配りのできた授業をして下さったし、家族は相談に乗ってくれたり、気配りもしてくれ、友達は勉強の手助けをしてくれたので、勉強に身が入りました。そのおかげで、成績もぐんぐんと上がっていき、合格へとつなぐことができました。

このように、私の大学合格は周りの人々の支えがなかったら成し遂げることはできませんでした。だから、それらの人々には本当に感謝しています。それで、これからも私が生きている間は周りの人々に支えられるでしょう。だから、私は、それに対して感謝することを忘れないようにしたいと思います。そして、自分もより多く周りの人々の支えとなることができるように、努力したいと思います。大学受験は、本当に、周りの人々のありがたみを分からせてくれるものであったと思います。

色々な体験

岸川　佳代　（平成20年度卒　九州大学経済学部）

今振り返ると、私は小城高校で色々な体験をしたなあと思います。

そもそも私が小城高を志望した理由は、英国への短期留学があったからでした。英国は全てが新しく（例えば私は日本人がいないクラスに入れられ、本物の異文化に触れたり）、一日じゃ語りきれない程の体験をしました。これも黄城会の皆さんのおかげです。

次は部活です。私は入学後、軽い気持ちで書道部に入ってしまいました。「文化部だから、勉強の両立も容易だろう。」という甘い気持ちで。しかし、小城高書道部というものは、まるで運動部でした。多くの出品のため、放課後大体７時まで活動。夏休みは朝から夕方までの週間もあり、私の小城高の思い出の半分は、書道部の思い出だと認めます。しかし、そのような野中先生の熱心なご指導のおかげで、私は３年生の夏、全国総合文化祭に佐賀代表として参加することができました。全国大会会場の群馬県で、私は多くの全国レベルの作品を鑑賞し、自分の書への刺激を受けることができました。

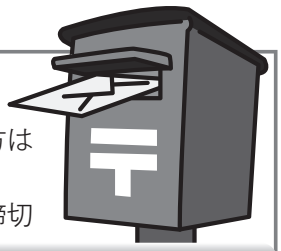
そして受験です。入学当初、私は国際関係に興味があり、大学は国際学部に進もうと予定していました。そして受験勉強を始めていくと、今まで勝手に苦手意識を抱いていた数学に興味を持ち始め、「文系で数学を学べるのは経済系だ！」と考え、九州大学経済学部に志望を確定しました。そして先日、自分の番号を見つけました。今の目標は、海外で経済学の専門家として活躍することです。

私は小城高に入ってよかったと思います。これからも、この３年間を糧にして努力をしていきます。

英国への短期留学

投稿 クラス会便り トピックス

掲載希望の方は
事務局まで
2010年４月締切



クラス会便り

高校12回生全国同窓会報告

秋たけなわの10月27日、ミナト横浜に日本一の高さの威容を誇る70階建てのランドマークタワーで『天空の同窓会』を開催しました。全国各地から同級生120名余が集い、高校時代の顔写真入の名札を胸に、折からの金融不況も何もかも忘れて48年前の生徒に返り、旧交と再会を喜び合う佐賀弁が飛び交い、会場がむせ返る程の熱気でした。

冒頭で、我々が在校当時に流行った石原裕次郎、水原弘、坂本九、西田佐知子らの唄をバックに、皇太子ご成婚、西鉄ライオンズの活躍などの世相とともに、入学時のクラス別の集合写真、体育祭の応援風景、嬉し恥ずかしだったフォークダンス、修学旅行など懐かしの思い出、それに出席者の昔の顔を一人ひとりスクリーンに映し出し、みんなの心の時計を一気に昭和30年代前半まで巻き戻したサプライズが好評でした。集合写真は男女別に撮影しました。女性群の中に「黒一点」がいますがホテルマンではありません。遅れて受付に来た果報者で実に嬉しそうに立っています。

翌日は箱根温泉一泊のオプションで、60余名が参加しました。正月の大学駅伝でお馴染みの天下の険の箱根の坂を登り、秋天の富士の高嶺を腹いっぱい眺め、大涌谷の黒タマゴを頬張って延齢を神頼み、仙石原のススキ野の絶景に目を奪われ、芦ノ湖遊覧などを楽しんでいるうちに刻々と秋の日は過ぎて、終生わすれ得ぬ『想い出の旅』となりました。

（高校12回　小畠　吉晴）

トピックス

第６回ゴルフコンペ

優勝　筴　英　氏!!

毎年恒例の第６回黄城会ゴルフコンペ（佐賀支部主催）が５月17日（日）大和不動カントリークラブに於いて開催されました。総勢43名の参加があり筴　英氏の優勝で幕を閉じ無事終了することができました。

なお上位入賞者の方々は次の通りとなっております。開催にあたって準備等ご尽力いただいた方々誠にありがとうございました。

優勝	筴　英
準優勝	川副　修
３位	山田　智明
４位	宮副　智弘
５位	東島　裕治
６位	古賀　正人
７位	中尾　光宏
８位	小山　晃
９位	柿本　将秀
10位	川副　正康
11位	柿本　始
12位	閉籠　辰己
13位	内田　守
14位	森永　和宏
15位	牧瀬　兼久

16位	南里　好明
17位	江里口　勉
18位	坂井　敬称
19位	古賀　暁生
20位	木下　和博
21位	三浦　貴俊
22位	太田　善夫
23位	古川　輝幸
24位	高間　誠治
25位	水田　信
26位	後川　裕子
27位	江頭　雅彦
28位	池田　浩一
29位	広瀬　英文
30位	中尾　孝二

おことわり

多数の原稿をいただきましたが紙面の都合上掲載できませんでした。申し訳ございませんでした。来年以降は紙面を増やしより多くの原稿を掲載できるように考えておりますのでよろしくお願いいたします。（編集部）

黄城会総会を終えて

高校36回　竹内　雅敏

2009年５月３日に黄城会総会が盛大に開催され、無事に終了する事ができ誠にありがとうございました。

振り返ると2007年８月、黄城会館に数人の同級生が集まり、「来年５月３日に饅頭会の当番らしい！」「そして次の年には総会をしないといけないらしい！」などと話をしながら、とくにかく「人間（同級生）ば集めんばいかんばい」となり、2008年１月の同窓会に向けて、小城・多久の各中学校の出身者が集まり、なんとか名簿の整理をつけて同窓会の案内を出せるようになりました。

恩師を交えた１月３日の同窓会は、約100人の同級生が集まり大いに盛り上がった同窓会になりました。卒業して24年ぶりに再会したこともあって、中には二次会、三次会へとくり出した同窓生もいたようで、大変楽しい一日となりました。それから数ヶ月後の2008年５月３日に「饅頭会」を担当させていただきましたが、その総会の規模の大きさに驚かされ、黄城会の歴史と責任の重大さを思い知らされました。

さあいよいよ我々が担当する総会までの１年間がはじまりました。まずは実行委員の組織作り、それから35回生の先輩による引き継ぎ会を開催していただき、各役割などのご指導をいただいて何とかスタートすることができました。

最初の仕事としてスローガンや会員券のデザイン等の決定。同級生の中にはそれぞれに得意分野があり、特に絵に関してはパソコンを利用したグラフィックな感じに仕上りました。アトラクションについては、饅頭会でも演奏していただいた24回生の野方様が率いる「大和太鼓」に決定しました。それから「６の期会」の認証を得て、満足のできる会員券が完成しました。

そしていよいよ2009年５月３日、『黄城魂－伝承－未来を今、創る時』をスローガンとして黄城会総会が開催され、総勢約1000人を超える参加者の中で盛大に執り行う事ができました。第２部の黄城の集いのアトラクションでは現役高校生を交えた物で企画し、吹奏楽・合唱部による素晴らしいミニコンサートとなりました。また、大和太鼓保存会による「大和太鼓」の演奏。そして本校卒業生の32回生の北村様による歌で楽しんでいただき、会場の皆様に感動を与え賑やかに終了しました。

総会が終わったなと思いながらもすぐに後片付け、更に恩師を含めた同級生約100名との25年ぶりの記念撮影。それから黄城会館での遅くなった昼食と一日がすごく目紛しく過ぎ去ったように感じました。しばらくすると同窓会の迎えに来たバスに乗り、一息ついたところで「やっと終わった」と実感しました。約１年９ケ月の間には色々なことがありました。バスに揺られながらその間の苦労した事や楽しかった事を思い出し、同窓会の席での挨拶で泣いてしまうんではないだろうか。とさえ思いました。いざ、同窓会が始まり皆の喜ぶ顔を見たら、うれしさのあまり「ふっ」と微笑んでしまい、その笑いが止まる事がなく「やって、よかった」と達成感だけが残り涙なんて出てきませんでした。

全国の36回生の皆様、ご協力いただきありがとうございました。特に働き盛りの男性や子育てで忙しい時期の女性。そんな中でも定期的な会議に快く参加してくれた実行委員の皆様、大変お世話になりました。あなた達の能力の高さには大変驚かされました。本当にありがとうございました。これからも末長いお付き合いになると思いますがよろしくお願い致します。

最後になりますが、　会員の皆様には会員券の購入や広告協賛を快くご協力いただきありがとうございました。誌上をお借りいたしまして心から厚くお礼申し上げます。また、先輩方との出会いはもちろんの事、同級生との親睦を深める機会をいただき本当にありがとうございました。地元は勿論の事、各地区の同級生の「絆」が深まっている次第でございます。

饅頭会を終えて…

2010年黄城会総会実行委員会　実行委員長　梶原　聖司

昨年の秋、先輩からのお声掛けを端緒に各クラスの知人数人への連絡に始まった大役…顧みますと、当初「何から始めるのか？」との前向きな疑問を抱く前に「なぜ？」と言う消極的かつ根本的な問いが頭から離れないままにスタートを切ったように思えます。

しかしながら、少しずつ大きくなって行く同級生の輪の中で話し合いを続けるうちに、誰かが務めなければならないのなら楽しみながら歩んでいこうとの共通認識に至り、それを目途に歩を進めて参りました。

饅頭会当日は、このスローガンの下に実行委員の枠を超えた大勢の同級生が集い、不行き届きの点は多数あったとは思いますが、各々がそれぞれに役割を見つけ動くことが出来たのではないかと自負しておりますし、この数の結集こそが次の総会開催のための力の源泉となるのだろうと考えております。

ただ、これらは先輩方（殊に36期の先輩方）の「経験に基づくきめ細かいご指導があったればこそ」と深く感謝を申し上げておりますし、総会当日の先輩方の在り様･差配振りを目の当たりにした今、これからの１年間の積み上げについては、更なるご指導無しには進めていくことが叶わないと痛感し、黄城の伝統の大きさ・重さに身の引き締まる思いを抱いているところです。

饅頭会の席上でお寄せいただいた諸先輩方からの激励を糧に、我々37期一同は400の微力を結集し､2010年黄城会総会を成功裡に収めるべく邁進する所存でございますので、何卒倍旧のご指導を賜りますよう宜しくお願い申し上げ、次期総会に向けた我々37期のご挨拶とさせていただきます。

平成21年５月

平成21年度黄城会役員一覧

▷**会長**＝岩松要輔（高10回）▷**副会長**＝七田義孝（高15回）志藤茂子（高16回）川副春海（高26回）▷**顧問**＝荒谷博幸（校長）水田哲也（教頭）▷**理事**＝石井倫平（中45回）内野正久（高３回）永池安彦（高４回）川副富男（高５回）横田宏（高６回）兵働文雄（高７回）大野雅央（高８回）真子輝雄（高11回）小柳平一郎（高12回）谷口征一（高13回）森永四郎（高14回）梅崎茂弘（高16回）松尾剛之（高17回）野田和良（高18回）小野茂（高19回）野田豊秋（高20回）田中丸晴雄（高21回）坂井一弥（高22回）堤覚三（高23回）古賀正人（高24回）圓城寺猛（高25回）横尾俊彦（高27回）井手美保子（高28回）堤雅彦（高29回）岡正幸（高30回）安永正（高31回）伊東猛彦（高32回）水田信（高33回）真崎俊夫（高34回）松尾直人（高35回）▷**監事**＝梶原千尋（高５回）金丸盛登（高９回）井手真喜子（高29回）▷**事務局長**＝大野雅央（高８回）▷**庶務**＝山﨑史子（高41回）▷**会計**大場知子（高37回）

支部役員名簿

[関東支部] ▷支部長＝江頭清昌（高４）▷ 副支部長＝浜田幸子（高５）吉村久夫（高６）▷会計監事＝南川政俊（高６）江里口宗男（高７）▷幹事長兼常任幹事＝安藤清隆（高８）▷事務局長兼常任幹事＝楢崎進（高14）▷顧問＝古賀與平（中37）藤永清子（女27）釘本晴夫（高４）▷常任幹事＝池田裕實（中46）吉田雅則（高４）手塚忠（定６）川井淳子（高７）橋村正昭（高９）林三郎（高12）岸川昌子（高15）岡田史一（高16）本村清人（高17）光石信幸（高20）小寺定典（高28）浜野純夫（高30）於保啓子（高30）吉田憲二（高31）川副隆之（高32）

[中京支部] ▷支部長＝久本哲義（高11）▷副支部長＝庭木利秀（高７）吉島大策（高７）服巻鴻志（高９）川島公子（高11）▷顧問＝中尾久徳（中42）中野大典（中43）平山重行（中43）鶴修三（高２）▷会計＝梅谷雅和（高17）▷事務局長＝江里口多美雄（高21）

[関西支部] ▷支部長＝山田正信（高７）▷副支部長＝木崎剛明（高５）内田昇（高17）▷顧問＝黒岩澄雄（中41）▷事務局長＝水田敏（高17）▷事務局次長＝中村貴代香（高31）▷会計監査＝米満正夫（高９）▷会計＝村岡敏幸（高26）

[長崎支部] ▷支部長＝中村利夫（中37）▷副支部長＝大場勝彦（高11）

[関門・北九州支部] ▷支部長＝野中栄三（高３）▷副支部長＝橋間啓人（高９）▷事務局＝永山重隆（高13）▷幹事＝大石ちづき（高４）荻野惇子（高６）山口孝美（高29）梶原三千代（高19）安達悦子（高23）菊池起久子（高31）宝蔵寺和夫（高35）

[福岡支部] ▷支部長＝小柳平八郎（高５）▷副支部長＝小川勇紀子（高４）伊東浩平（高６）▷幹事長＝御木英毅（高11）▷副幹事長＝山口順蔵（高18）堺八千代（高25）▷監事＝大塚朝夫（高３）▷顧問＝松尾健次（中36）井手ミツ（女16）牧瀬忠倶（中37）吉田英介（高１）

[佐賀支部] ▷支部長＝山田浅雄（高２）▷副支部長＝古賀渡（高４）梶原千尋（高５）安藤真行（高15）宮原史枝（高15）▷幹事長兼事務局長＝江里口勉（高16）

[県庁支部] ▷支部長＝馬場光彦（高24）▷幹事長＝大坪広幸（高27）

[唐津支部] ▷支部長＝白石元秀（高７）▷副支部長＝永渕明則（高16）▷常任幹事＝東郷康次（高６）家永正人（高８）川打東洋（高14）大草タカ子（高16）田代準冶（高21）▷会計＝江口善子（高14）▷事務局長＝鮎川正博（高28）▷顧問＝細川繁美（中41）

[多久支部] ▷支部長＝古賀栄子（女23）▷副支部長＝井上正昭（高２）吉浦啓一郎（高15）▷相談役＝横尾俊彦（高27）▷幹事長＝内野正久（高３）▷事務局長＝古賀通雄（高23）

平成20年１月～平成21年３月までの物故者（敬称略）（会期）氏名［住所］

（旧中28）清水末男［東京都］（29）古我欽人［福岡市］（29）宮崎一［福岡市］（30）深川次郎［長崎市］（31）内山亮知［佐賀市］（31）北島満治［福岡市］（31）野田保明［小城市］（31）木村正次［白石町］（32）永田幸夫［横須賀市］（32）坂井穣［長崎市］（32）森永繁［佐賀市］（33）東朝三郎［小城市］（33）秋吉正夫［佐賀市］（33）梅谷稔［小城市］（35）川内丸香［多久市］（35）持永恕［福岡市］（37）千々岩梅春［小城市］（39）村椿静馬［富山市］（40）須古美延［小城市］（40）濱崎一登［小城市］（40）古賀成敏［佐賀市］（41）兵動輝冶［習志野市］（41）古賀幸信［小城市］（42）石田忠明［熊本市］（42）石橋操［所沢市］（42）於保純一［小城市］（42）内藤光二［佐賀市］（43）藤川政文［福岡市］（43）武冨健一［多久市］（44）寺田重雄［伊万里市］（45）川久保三寿憑［東京都］（46）松本喬［多久市］

（高女５）本村キクエ［多摩市］（７）大江アヤ［福岡市］（９）山本シツ子［田川市］（13）古賀チサト［嬉野市］（13）副島冨美枝［佐賀市］（13）嘉村ちゑ子［神埼市］（14）関イソ［春日市］（16）中川カツヨ［多久市］（16）森永文代［多久市］（17）宮田米子［高萩市］（17）篠原千早［小城市］（17）塚本田鶴子［福岡市］（18）東島清子［佐賀市］（18）宮崎孝子［世田谷区］（20）松江敏子［唐津市］（20）持永キヨ［古賀市］（20）塚田玲子［上天草市］（21）陣内ゆき子［小城市］（21）古賀マサ子［八女市］（21）浦田キクエ［小城市］（24）長トモ子［千葉市］（24）土橋昌子［川崎市］（27）宮崎晶子［鹿島市］

（高校１）石田駿二郎［千葉市］（２）松岡孟［佐賀市］（２）相原憲二［鎌ヶ谷市］（２）佐藤理［大村市］（２）高園末雄［藤沢市］（２）中尾皓一［佐賀市］（２）古川欽一［佐賀市］（３）伊東正人［東京都］（３）末田哲也［春日部市］（３）橋本博子［横須賀市］（３）前田正三［唐津市］（４）古賀公仁［立川市］（４）岩藤朝男［大阪市］（４）松尾英治［小城市］（４）森永信一郎［堺市］（４）円城寺信子［鳥栖市］（４）野田冴子［久留米市］（４）堀内千恵子［唐津市］（９）中尾邦彦［山武郡］（９）久冨重徳［福岡市］（10）岩井重喜［多久市］（10）古賀秀雄［山武郡］（13）平石英治［鈴鹿市］（15）角山佐和子［東京都］（15）吉村三義［小城市］（18）加藤初子［半田市］（19）甲斐輝代［相模原市］（19）堤省二［多久市］（19）村山和男［佐賀市］（21）泉博史［鎌倉市］（21）田中博幸［多久市］（22）久保真智子［小城市］（27）深川耕助［小城市］

寄　贈（平成20年１月～平成21年３月）

寄附金　**高校16回一同様**　60,000円／**大橋国光様**（高校10回）　2,000円／**高校10回一同様**（卒業50周年記念）20,000円／**佐賀支部主催第５回黄城会ゴルフコンペ**　42,000円／**長トモ子様**（旧中24回）　5,000円／**七田義孝様**（高校15回）　20,000円

図　書　**野田有威様**（旧中29回）『野田有竹句集　蝸牛』層雲社／**桜田靖様**〔本名　小畠吉晴様〕（高校12回）『幻の川』西日本新聞社／**橋間他家男様**（旧中38回）『未明の地平線』／**東佐久良様**（高校10回）『続・大和路を駆け抜けて－早天に慈雨うけて』近代文芸社

事務局通信

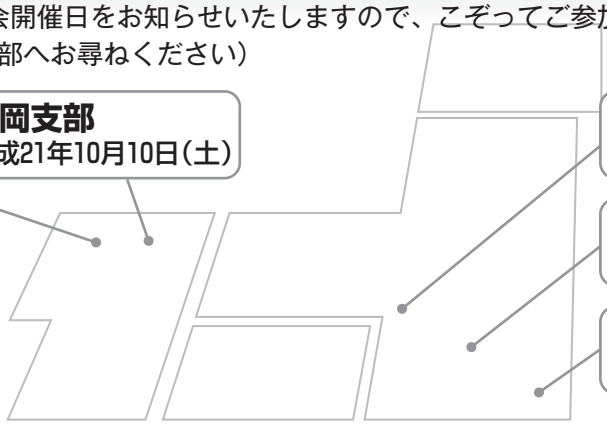
佐賀県立小城高等学校　黄城会事務局
〒845－0001　佐賀県小城市小城町176番地　TEL･FAX（0952)72－7128
E-mail:ojyokai@galaxy.ocn.ne.jp　URL:http://www4.ocn.ne.jp/～ojyokai/

本年度は小城高校創立110年となります。10月には記念式典が予定されております。また９月の小城高祭には、卒業生も協力して、祭りを盛り上げることとなりました。また本年度より、卒業回期別の「便り」を同封できることになりました。多くの回期より、「同級生便り」を寄せていただき、同級生だけに同封しております。お楽しみください。

また同封の会費のお願いですが、会財政逼迫の折、納入の程、切にお願い申し上げます。

平成21年度 支部総会予定日

＊平成21年度の支部総会開催日をお知らせいたしますので、こぞってご参加下さい。
（時間、会場等は各支部へお尋ねください）



佐賀支部
平成21年11月13日(金)

唐津支部
平成22年２月７日(日)

多久支部
平成22年２月14日(日)

県庁支部…未定
長崎支部…未定
関門・北九州支部…未定

福岡支部
平成21年10月10日(土)

関西支部
平成21年10月17日(土)

中京支部
平成21年９月27日(日)

関東支部
平成21年10月18日(日)

＊佐賀支部主催の“黄城会ゴルフコンペ”も第６回目が去る５月17日（日）に開催されました。
毎年５月第３日曜日に開催することに決定致しておりますので、ふるってご参加下さい。

小城高が創立110周年

小城高校が、本年度で創立110周年を迎えている。記念式典が、ことし10月31日（土）に高校体育館で開催され、東京佐賀県人会の吉村久夫会長（元日経ＢＰ社社長・黄城会関東支部副支部長 高校６回）が記念講演を行う。黄城会では、記念誌発行の協力として、各会期ごとの寄付を募り、出版の支援を行っている。

式典は、小城高校生、黄城会会員などの参加で開催され、講演ほか、記念音楽会などがある。

また、創立110周年記念式典事業として、９月12日（土）から２日間行われる恒例の小城高祭で、110年記念行事として黄城会会員に協力を募り、元応援団の会員による応援参加や、書、写真などの展示参加、バンドや吹奏楽などのステージ参加も募集している。

創立百周年記念の英国研修支援事業が終わる

創立百周年を記念して、黄城会が行っていた小城高校生英国派遣事業が、予定通り10年間の事業を終えた。のべ174人の小城高生が英国ラグビー校で研修を行った。派遣事業は、小城高校の名物行事になり、今後は独自事業として継続される。

英国派遣事業は、百周年記念事業の一環で、総予算約3,400万円の規模で、現役小城高生の英国研修の補助を行った。毎年夏休みに、10－20人の高校生が、英国の名門パブリックスクール・ラグビー校で研修を行うもの。事業終了に伴い、創立百周年記念事業特別会計も終了した。

事務員の一言

平成20年６月末より事務局に勤務することになったお二人の紹介です。長年勤務された成住陽子さん副島茂子さんご苦労様でした。

昨年の６月末よりお世話になることになりました。これまで先輩方が築いてこられた、伝統や歴史の深さに感動致しました。又、同窓生の絆の深さも素晴らしいものだと感じました。

まだまだ未熟ですが、今後とも宜しくお願い致します。　大場　知子（高校37回）

個性的で元気な先輩方に支えられながら約１年経ちました。今回初体験の黄城会総会では同窓生の絆の強さや母校の歴史を改めて感じ、感動しました。

これからもご指導、ご助言をよろしくお願いします。　山崎　史子（高校41回）